

ラーニングテクノロジー開発室

ニュースレター

WebCT活用授業レポート

通信教育課程のメディア授業におけるWebCTの活用



今回は、理工学部の方谷直治先生にお話をうかがいます。

LT 通信教育課程では、どのようにお使いになっているのでしょうか。

芳谷先生 メディア授業のコンピュータシミュレーション概論という科目では、WebCTに載せたコンテンツと、書籍の教科書を使っています。WebCTには、1回から15回までの授業それぞれについて、教科書のどこをどのように学習するかを記した、学習の手引きを載せています。また、補足として、コンピュータ上でシミュレーションを行ってグラフ化する様子を、動画と音声で説明したビデオ教材をビデオライブラリから視聴できるようにしています。

LT 学生はどのように学習を進めているのでしょうか。

芳谷先生 学習の手引きには、ほぼ毎回演習問題を載せていて、学生は演習の結果をWebCTのメールで送ってきます。これに対しては、正解なら○、そうでなければ×、そして×の時はヒントやコメントなどを、なるべく早く返信しています。WebCTのメールを、通常使っているメールアドレスへ転送できるので、タイミング良くフィードバックできる点が良いですね。この転送機能は、とても便利に使っています。

しっかりと理解してもらうことを目的としているので、演習問題は、2回まで再提出をOKとしています。15回分を前半・後半で大きく2つに分け、それぞれ60%以上ができれば、科目修得試験の受験資格

を得られることにしています。受験資格を得て科目修得試験の申し込みをした学生には、演習問題の解答一式を送ります。これを見て、さらに理解を深めてもらいたいと考えています。

LT お使いになって、いかがでしょうか。

芳谷先生 学習の手引きを作るのは、ちょっと大変でした。提出された課題に対する返信は、今のところ負荷が大きいとは余り感じていませんが、なんとなくかなっているのは、学生数がまだそれほど多くないことと、毎回の課題に対しては○×の簡単なフィードバックとして、きちんとした解答一式をあとで送ることになっているからでしょうか。解答一式を公開するのではなくて、学生個人宛に、別々に送ることができる点は良いですね。ただ、WebCTには課題ツールがありますが、それを使うと学生が提出した答案を学籍番号順にソートできないのが難点です。そこで、メールで受け取って学生別のフォルダに自分で振り分けるという方法をとっています。ビデオ教材に関しては、ビデオを見てはじめて納得できた、理解できたという学生の声があります。学習の手引きで充分と考えていましたが、役に立っているという学生もいるということですね。

LT そうですね、コンピュータの画面を見ながら質問することが難しい通信教育課程の場合には、ビデオによる補足教材が特に役に立ちそうですね。ありがとうございました。

お知らせ

◆ 私情協主催イベント

以下の2つのイベントが、開催されます。詳細は私情協のサイト(<http://www.juce.jp/>)をご覧ください。また、参加申込につきましては、各キャンパス内の締切にご注意ください。

・ ICT利用による教育改善研究発表会

日程：8月10日(水)

場所：東京理科大学(九段校舎)

・ 教育改革ICT戦略大会

日程：9月6日(火)～8日(木)

場所：アルカディア市ヶ谷(東京、私学会館)

◆ 情報処理学会第4回CLE研究会 報告

情報処理学会教育学習支援情報システム(CLE)研究会の第4回研究会が、5月12日(木)～13日(金)に長岡技術科学大学において、「学習行動分析と学習支援および一般」というテーマで開催されました。本学からは、LT開発室員1名が参加しました。

◆ 情報処理学会第110回CE研究会 報告

情報処理学会コンピュータと教育(CE)研究会の第110回研究会が、7月9日(土)に富山大学において開催されました。本学からは、LT開発室員1名が参加しました。

以上2件の報告の詳細は、LT開発室のウェブサイトをご覧ください。第5回CLE研究会と第111回CE研究会は共催で、10月14日(金)～15日(土)に、本学宇都宮キャンパスにおいて開催される予定です。

◆ 第70回LTセミナー 報告

4月21日(木)に柔道整復学科の教員を対象として「WebCT講習会 for 柔道整復師国家試験対策プロジェクト」を開催しました。セミナーでは、国家試験対策プロジェクトについての説明とWebCTの操作体験を交えた講習がありました。セミナーの詳細や資料はLT開発室のウェブサイトまたは、WebCTの「eラーニングの広場」をご覧ください。

授業支援システムをリニューアル！ -コンテンツ移行と先行活用-



4月のニュースレターでお知らせしたとおり、2011年度末までに全学授業支援システムをWebCTからLMSへリニューアルします。この7月より、WebCTとLMSを並行して運用を始めます。その後、2012年3月31日にWebCTの運用を終了し、2012年度以降は、全学でLMSを利用します。

WebCT上のコンテンツをLMS上で利用される先生方には、コンテンツの移行作業をしていただく必要があります。今回は、この作業についてご案内します。また、2011年度後期からのLMS先行活用方法についてもご案内します。

○コンテンツ移行作業

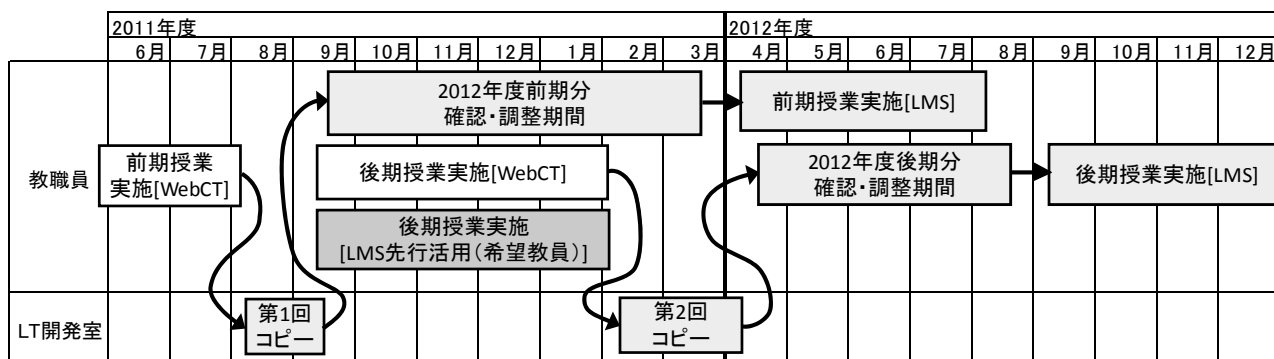
移行作業の全体的なスケジュールを下図に示します。移行作業の基本的な流れは次のとおりです。

1. LT開発室によるWebCTからLMSへのコピー作業
2. 先生方によるLMS上での確認・調整作業

上記1のLT開発室によるコピー作業では、WebCTコンテンツをLMSへ一括してコピーします。この作業は合計2回予定しています。8～9月に実施予定の第1回目のコピー作業では、2011年度前期までのWebCT上の全てのコンテンツをLMSへコピーします。2011年度末に実施予定の第2回目のコピーでは、2011年度後期分のコンテンツをコピーします。

上記2の先生方による確認・調整作業では、LMSへコピー後のコンテンツを確認し、必要に応じてデザインや設定を調整していただきます。2011年度後期には、2012年度前期に利用するコンテンツを、2012年度前期には、2012年度後期分のコンテンツを対象に作業することとなります。また、通年あるいは通信課程の授業で利用するコンテンツは、2012年度前期分と後期分に分けて作業していただきます。以上の作業については、LT開発室がサポートいたしますのでご安心ください。

先生方による確認・調整作業の準備が整い次第、ご連絡いたします。



編集後記 例年より2週間ほど早く梅雨明けが発表され、夏本番となりました。今年は梅雨に雨の降らない日が多かったため夏の水不足が心配ですが、電力不足の方が深刻でしょうか。皆さんは節電と暑さ対策どうされていますか。建物の中にいても熱中症になるといいます。体調と相談しながら、今年の夏は節電を頑張りたいたいものです。(渡部)

◇WebCTやLMSとは何ですか？

全学で利用できる授業支援システムです。教材を提供したり、小テストやアンケートを実施したり、課題レポートの提出を受け付けたりといった授業での活動を、インターネットを介して行えます。

WebCT(製品名: Blackboard Learning System CE8)は、2006年度より全学で利用しているシステムです。2010年度には296科目の授業での活用がありました。このWebCTの後継システムがLMS(製品名: Blackboard Learn R9.1)です。なお、八王子キャンパスと宇都宮キャンパスで今年度から運用する教職課程履修者カルテシステムは、このLMS上で利用します。

これまでWebCTを使われなかった方も、これを機に是非ご活用ください。

○2011年度後期からの先行活用

2011年度後期の授業において、LMSを先行活用される方は、LT開発室までご相談ください。WebCTコンテンツを移行した上で利用する場合、コンテンツの確認・調整作業が夏休み中に必要になります。

○LMS利用方法などの情報

LMSをご利用いただく方には後日マニュアルを配布します。

また、教職員を対象としたLMS利用講習会を各キャンパスで開催します。初回は、夏休み中の開催を予定しております。開催日と場所については、先生方のご都合をお寄せいただいた上で、決定いたします。詳細はLTレターと帝京大学LMSサポートサイトにてご連絡します。

LMSに関する最新情報は以下の帝京大学LMSサポートサイトにて随時提供いたします。

<http://www.LT-Lab.teikyo-u.ac.jp/lms-ss/>

ご不明な点はLT開発室までお問い合わせください。



ラーニングテクノロジー開発室連絡先

宇都宮キャンパス本部棟2号館2F 203室

◇室長: 渡辺 博芳

◇室員: 高井 久美子, 古川 文人, 及川 芳恵, 渡部 里美, 新階 創

<http://www.LT-Lab.teikyo-u.ac.jp/>

028-627-7243 (直通)

LT-Support@LT-Lab.teikyo-u.ac.jp

